

総合問題（後期日程入試）の出題意図と解答例

I. 出題意図

一般入試学生募集要項記載のアドミッションポリシーのうち、本課程の選抜方針は、「緻密な論理的思考力と社会に対する洞察力、それを支えるバランスのとれた学力を持ち、同時に、美や造形に関心を持ち、行動力と協調性があり、自らも表現することに熱意のある人を求めます。」であり、そして、求める能力・適性を、「論理的思考能力、美しいものに対する感受性、人間や社会およびビジネスに対する関心と理解力、新しい可能性に向けての創造力、チャレンジ精神と行動力、コミュニケーション能力と協調性」としている。また、同要項記載の通り、個別学力検査の「総合問題」のねらいは、「教科・科目の枠を超えて、総合的な学力を検査する。」ことであり、本課程の後期日程入試の「総合問題」は、「デザインや建築を含む社会的な課題について、工学的・経済的・文化的に理解し、自分の考えをまとめる能力」を検査する問題としている。

この総合問題では、AI（Artificial Intelligence；人工知能）をはじめとしたテクノロジーの発達やグローバル化の進展など、日本企業や日本社会にとっての課題を概観し、それらの解決策を探る事例として、2015年5月から10月に開催されたミラノ万博の日本館を紹介した、宮津大輔著「アート×テクノロジーの時代 社会を変革するクリエイティブ・ビジネス」（光文社新書）の「まえがき」をもとに出題した。この出題文に基づいた問題は、上記の後期日程入試での本課程の総合問題で検査する「デザインや建築を含む社会的な課題について、工学的・経済的・文化的に理解し、自分の考えをまとめる能力」を問うことができると考えた。具体的には、以下の通りである。

II. 各問の出題意図と解答または解答例

1. 問1では「バランスのとれた学力」を検査するため、英単語の知識を問うた。解答は、次の通りである。

a. nationalism b. creator c. fine

2. 問2でも「バランスのとれた学力」を検査するため、文脈から適した漢字を選択して、それを書くことができるかを検査した。解答は、次の通りである。

①特異 ②喪失 ③親和性

3. 問3では、文脈から、その語について、自分なりの解釈を短くまとめるなど、「論理的思考能力」を検査した。このため、「最後」や「砦」などを文脈にあわせて解釈できているかを重視した。解答例としては、次の通りである。

「AIが最後まで人類に勝てない分野」（17字）

「AIがいつまでも人を超えられないこと」（19字）など

4. 問4では、「社会的な課題について、工学的・経済的・文化的に理解し、自分の考えをまとめる能力」を検査することを意図し、「人類独自の優位性」についての自分の考えを自身の言葉でまとめる問題とした。解答には、例えば、「ゼロから何かを創造すること」や「美醜を認識できること」など、人類にしかできない、あるいは、人類の方がAIなどよりも優れていることが論理的に説明されていることを求めた。
5. 問5の①では、「論理的思考能力」や「バランスのとれた学力」を検査するため、英語文の文脈から指定された箇所の大意を把握する能力を検査した。また、②では、提示された英語文の全体の文意を、見出しとして、簡潔にまとめる力を試した。
- ①の解答として、「Hawking（ホーキング）教授は、これまでに開発された初期的な段階のAI（人工知能）でも非常に有用で、今後、AIが人類に匹敵するか、それを越えることを警戒している。」など、ホーキング氏が、現段階でもAIの有用性を認め、今後、それが人類の脅威となることを警戒しているという主旨が書かれていることを求めた。
- ②の解答例として、引用元のBBCのホームページでは、Stephen Hawking warns ‘artificial intelligence could end mankind’（5語）との見出しがつけられていた。解答には、英語文として、ホーキング氏が、「AIが人類にとっての脅威となること」を警戒しているという意味が示されていることを求めた。
6. 問6では、この問題文における筆者の結論にあたりと考えられる箇所の主旨を把握し、それを自身の言葉でまとめることで、問題文の大意をとらえる力を検査した。解答では、①日本古来の価値観や考え方や高い技術力を、世界中が見直しを始めていること、②このような独自優位性を有しているものの、日本は自らの価値に対する認識不足や、技術偏重、PR下手などの要因から、政治的、経済的、文化的苦境を招いていること、③最先端テクノロジー・アート創造企業は、日本独自の優位性を、うまく発揮し、発信できる企業であることなどが、まとめられているかを評価した。

III. 出典

1. 宮津大輔『「アート×テクノロジーの時代 社会を変革するクリエイティブ・ビジネス」光文社（光文社新書）、2017年6月20日初版第1刷
2. British Broadcasting Corporation のホームページ
(<https://www.bbc.com/news/technology-30290540>)